

弘 前 大 学

國 史 研 究

第 152 号

〔論文〕

「青森開港」の年代をめぐって
—自治体の刊行物と歴史研究—

工藤 大輔 1

〔研究ノート〕

津軽家一門の法華信仰と女人法華について

篠村 正雄 24

〔施設紹介〕

旧石戸谷家住宅—堀越城跡ガイダンス施設として
生まれ変わった旧石戸谷家住宅—

福井 敏隆 42

弘 前 大 学 國 史 研 究 会

2022・4

『弘前大学國史研究』投稿規定

- ◎ 論文 四百字詰 60枚程度を原則とする(縦書き、以下同様)
 - ◎ 研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度
 - ◎ 研究余録 四百字詰 10枚程度
 - ◎ 史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度
 - ◎ その他(書評・研究動向・歴史随想など) 四百字詰 10枚から20枚程度
 - ◎ パソコン等による執筆は、32字×23行で組んで下さい。
 - ◎ デジタルデータによる投稿も可能です。ただし、本文と図版は別のファイルにし、図版の挿入箇所及び大きさ等を本文中に明示して下さい。
 - ◎ 横書き原稿を希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。
 - ◎ 原稿締切 一月末と八月末の年2回
- 投稿申込は原稿締切の1ヶ月前までに事務局に申し込んで下さい。事務局のメールアドレス hirodaikokushi@gmail.com
- ※ 投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿をお願いします。また、原稿は必ずお手元でコピーをとって保存しておいて下さい。投稿は本会会員に限ります。
 - ※ 掲載については、原稿を受領後、編集担当者会議で審査し、審査終了後にご通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。
 - ※ 掲載された論文等については、原則として弘前大学学術情報リポジトリで公開します。公開許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、リポジトリ公開についても、著者の責任において権利者からの許可手続きを行って下さい。
 - ※ 掲載分の論文等については、PDFまたは抜刷30部をさしあげます。
 - ※ 本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の了承を得て下さい。

― 彙 報 ―

◎弘前大学國史研究会例会を左記の通り開催した（オンライン開催）。

第九七回 中野渡一耕氏「北奥外様小藩八戸藩における鷹狩り」

「鷹匠小路」に鷹匠はいたのか」

令和三年十二月十八日（土）

◎令和三年度第一回弘前大学國史研究会役員会を、令和四年三月二十一日（月）に開催した（オンライン会議）。機関誌「弘前大学國史研究」編集の適正化と効率化をより図るために、編集担当者会議の定期開催、投稿希望の事前申し込み制（本号の投稿規定をご覧ください）を決定した。また、これにともない、機関誌の発行は十二月と五月を目処とすることをした。

◎本会名誉会員の黒瀧二郎氏が令和四年二月十五日（火）にご逝去された。長年、本会の委員を務めるとともに、専門の法制史に関する論文等を本機関誌に多数投稿し、本会発展に寄与された。心からご冥福をお祈りいたします。

（HT）

令和四年四月三十日

弘前大学 國史研究 第一五二号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学教育学部日本史研究室内

編集者 弘前大学國史研究会

発行者

振替口座 〇二三〇〇一六三四番